

## 強権的 労務管理の強化 酒臭い 乗務停止 日勤

### 東海労組合員を標的にした 労務管理の強化を許さない

2月1日、新しい東海労組合員が誕生した矢先の3日、東二輪で東海労組合員が「酒臭い」ことを理由に乗務を降ろされ翌日を日勤とされた。その悪らつな狙いは、労務管理を強化しても一向に減らない「不祥事」を何とかしなければ、という焦りから、東海労組合員の 酒気帯び出勤 をでっち上げ、何とか乗り切ろうとするものだ。

業務上の失敗や生活に言いがかりを付けた事情聴取と時系列等報告書を基にしたプライバシーの侵害では足りず、東海労組合員を標的にしてしか乗り切れないほど、職場が荒廃しているのではないのか。何のための検知器なのか。何のために奥から持ち出してカウンターに置いたのか。お守りや脅しではなく、この 機会 を待っていたのだ。

本社と幹鉄事に抗議した。本社は、基準値だけが判断ではない。幹鉄事は、検知器はあくまでも補助的な物・最終的には管理者が判断する・数値が基準以下でも降ろすことはある、と回答したことで証明される。最初から検知器などどうでも良く、数値を超えれば有無を言わず、越えなければ管理者が判断する、ことにしていたのだ。

2度の測定の結果、組合員の数値はいずれも基準を下回っており、当然、運転助役が乗務させる、と判断 したにもかかわらず、その後、急きよ乗務させない、明日は日勤、としたのだ。判断した管理者 が誰なのかを考えれば、その狙いがハッキリする。

東海労と東海労組合員への攻撃にとどまらず「管理者」による強権的な労務管理の強化を 全所員に 向けるのが狙いだ。

### 東海労は 悪らつな手段を通した 労務管理の強化を許さない